

手術しないで、ひざの痛みを取る、最新の治療

クーリーフ(COOLIEF)について

愛媛生協病院 整形外科

保存療法と手術療法の間にある治療＝クーリーフ

ひざが痛くなって、最初に行われる治療は、消炎鎮痛剤（痛み止め）や、ヒアルロン酸注射など、手術以外の治療（保存療法）です。

これまでは、この保存療法で効果がない方に、人工関節を始めとする手術療法が行われてきました。

クーリーフは、保存療法では治療効果が少ない方で、さまざまな理由で手術まではすぐ踏み切れない方や、全身状態や高齢のため手術が受けられない方に、有効な方法です。

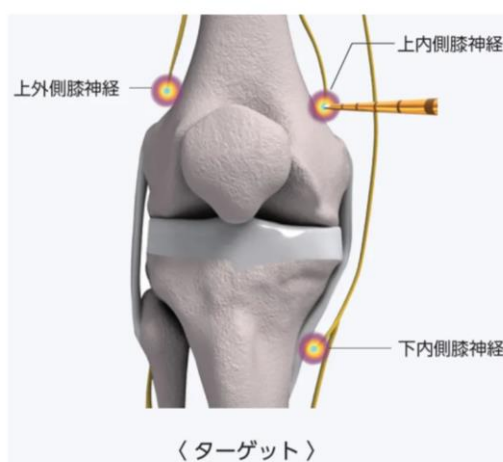


クーリーフによる治療

ひざの痛みを感じる神経3本に、超音波エコーでねらいをつけ、これらの神経を焼灼（加温、凝固）します。

これにより、ひざの痛みが軽くなります。

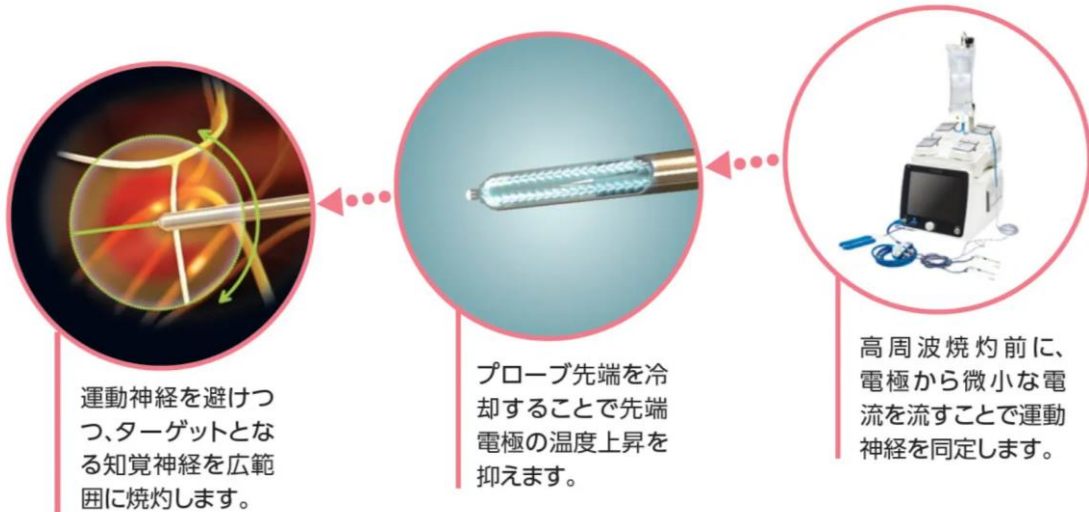
治療は、局所麻酔で行います。治療そのものは、30-60分程度で終わります。



Coolief* 疼痛管理用高周波システムは、超音波エコー下で左図の3つの膝神経をターゲットに、変形性膝関節症に伴う疼痛治療を行います。
※診断用神経ブロックも同様のターゲットに対して行います。

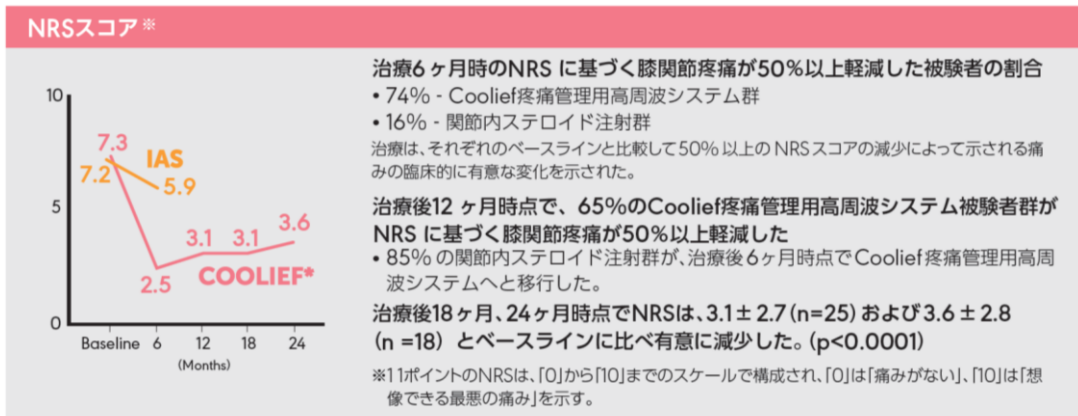


クーリーフのしくみ

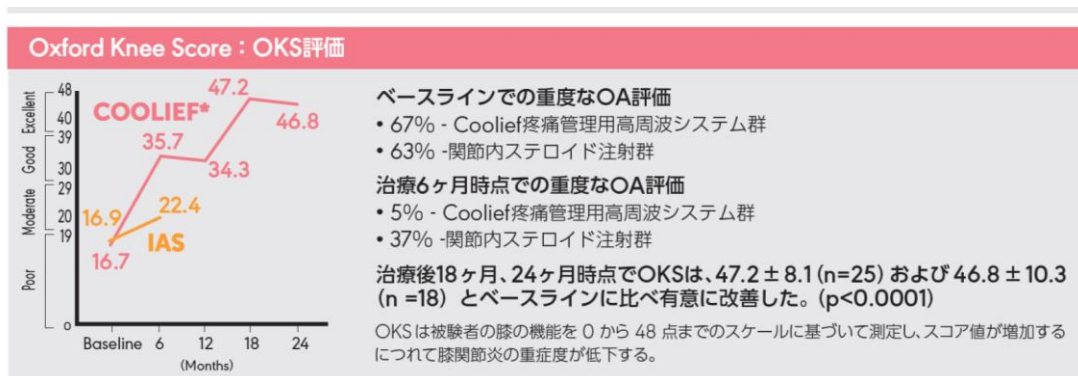


クーリーフの治療の効果

患者さん自身による痛みの評価です。最大の痛みを10、痛みなしを0としています。クーリーフ（グラフ内のCOOLIEF）では、Baseline（治療前）と比較して、6、12、18、24か月後に痛みが半減していることがわかります。



ひざの機能のグラフです。高いほど、ひざの機能がよくなっていることを意味しています。クーリーフ（グラフ内のCOOLIEF）では、Baseline（治療前）と比較して、6、12、18、24か月後にひざの機能は改善しています。



Q. クーリーフによる治療で、薬や注射は必要なくなりますか？

A. 痛みが0になるわけではなく、痛みの軽減が期待されます。その結果、痛み止めの薬や注射の回数は減らせる可能性があります。ただし、変形したひざ自体が治るわけではないので、すべての患者さんで手術が避けられるわけではありません。

Q. 治療費用は、どのくらいかかりますか？

A. クーリーフは、保険適応となっています。保険や年齢によりご負担額は異なりますので、来院時におたずね下さい。

Q. クーリーフによる治療で、痛みはどのくらいから軽くなりますか？

A. 治療直後は、局所麻酔剤の効果で痛みがないのですが、その後痛みは少し出てきます。個人差はありますが、2日目から1週間程度で改善する方が多いようです。

Q. クーリーフ治療による合併症はありますか？

A. 局所の感染や、皮下出血が起こることがあります。発生率は低いですが、やけどや痙攣、痛みの悪化、筋収縮、神経血管損傷、異常感覚などが考えられます。

Q. クーリーフ治療後は、どのようなことに気をつければいいですか？

A. 治療直後で、3か所の針刺入部の痛みがある間は、激しい運動は避けてください。入浴は可能です。局所の痛みが取れば、制限はありません。ひざの筋力増強や可動域改善のためのリハビリは、引き続き必要です。

Q. ひざ以外の部位に、クーリーフは可能ですか？

A. 今のところ、ひざ関節のみの適応となっていますので、他の部位には行うことはできません。今後、治療の適応部位が拡大する可能性はあります。

クーリーフ担当医

当面、小西医師、森実医師（月・金曜日）が担当します。